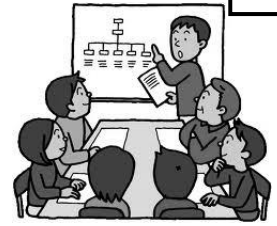


●第2回金浜地区復興まちづくり検討会

◆開催概要

日時：12月7日(水) 18:30～21:00

場所：金浜老人福祉センター 出席者：検討会メンバー14名



検討にあたっての情報提供

■地区復興まちづくり便りへの意見等について

皆様からお寄せいただいた復興まちづくりに関するご意見やご提言をお知らせし、検討を進めました。

■浸水深と建物被害の関係について

宮古市の建物被害は、浸水深 2m前後で被災状況に大きな差があり、2m以下の場合では建物が全壊となる割合が大幅に低下しています。

■津波シミュレーションについて

最悪のケースを想定し、防潮堤が破壊された時でも人命を確実に守れるようにするため、防潮堤がない場合のシミュレーション結果をお示しした上で避難計画の検討を進めました。

■道路嵩上げについて

第1回検討会で出された国道45号の嵩上げ要望について国に確認したところ、道路のみでの嵩上げは難しいとの回答だったことをお伝えしました。また、同じ様に要望として上げられていた二線堤について、その整備イメージ図をお示するとともに津波シミュレーションから最低でも13.5m程度の盛土高が必要になることをご説明しました。

■宅地等の造成イメージについて

第1回検討会での意見をもとに、高浜小学校北部と市営金浜住宅周辺の高台での宅地造成イメージ図をお示しし、検討を進めました。

住宅・産業等の土地利用の方針について出た主な意見

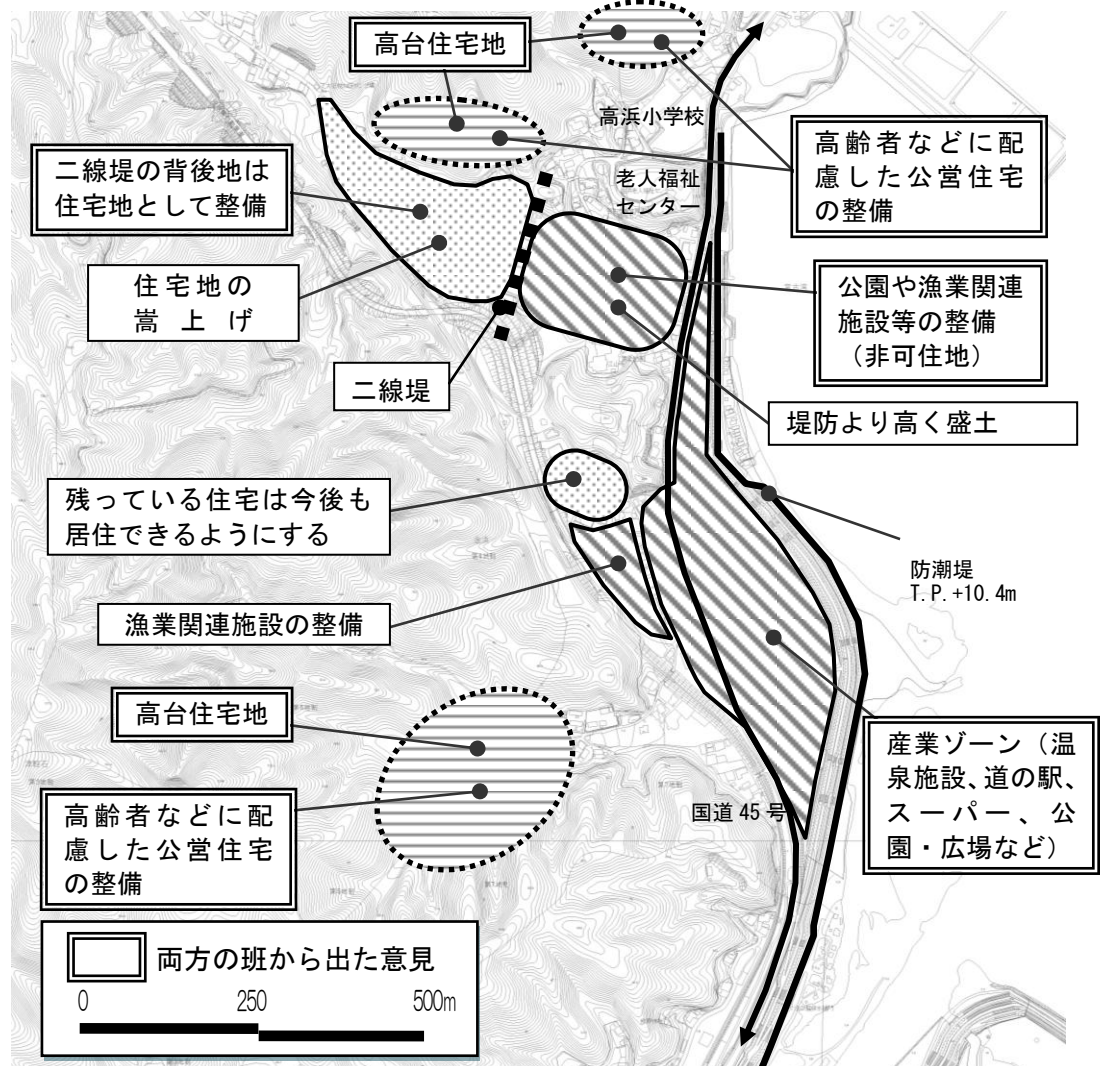
第1回に引き続き2班に分かれて検討した結果、右図に示すように意見の共有が図られました。

○被災住宅については、できるだけ従前居住地に近い高台など津波の心配のない安全な場所への移転。

○高齢者や家族の多い世帯などに配慮した公営住宅の整備。

○二線堤より山側は可住地、海側は非可住地。

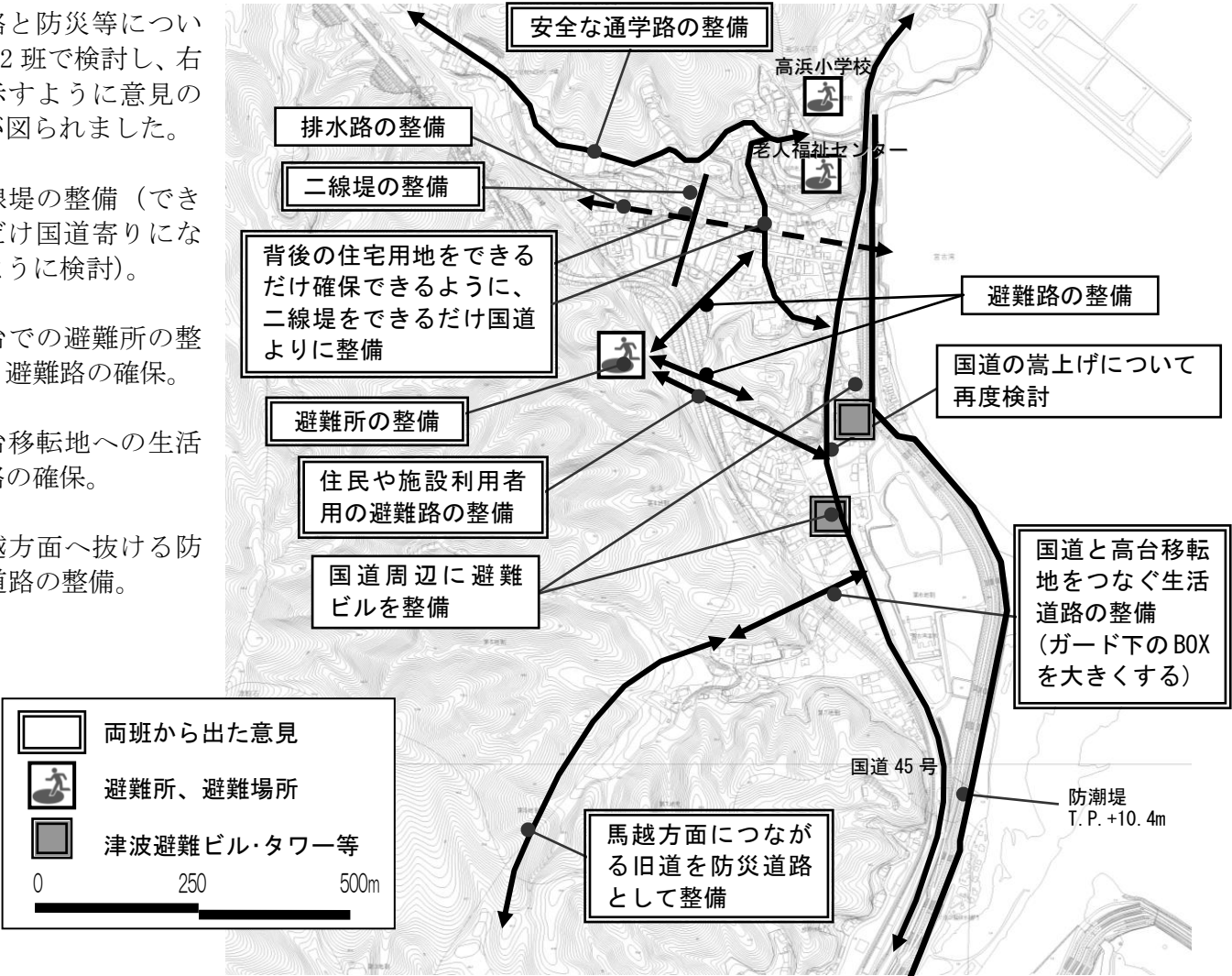
○非可住地では温泉施設や道の駅、スーパーなどを誘導し、にぎわいの創出。漁業を営む住民のために漁業関連施設の整備。



道路、防災等の方針について出た主な意見

道路と防災等についても、2班で検討し、右図に示すように意見の共有が図られました。

- 二線堤の整備（できるだけ国道寄りになるように検討）。
- 高台での避難所の整備と避難路の確保。
- 高台移転地への生活道路の確保。
- 馬越方面へ抜ける防災道路の整備。



今回の検討会で共有できた方針

①土地利用の方針

高浜小学校周辺の高台	被災住宅の高台移転用地として整備。
金浜住宅（市営住宅）周辺の高台	高齢者や自己再建が困難な住民に配慮した公営住宅の整備。 できるだけ従前居住地に近い場所に移転できるように検討。
防潮堤～国道 45 号沿道	温泉施設の復活や道の駅、スーパー、公園・広場など、地域の賑わいを創出する産業系の土地利用を誘導。
二線堤後背地	高台になっている金浜稻荷神社と宮古道路を結ぶ二線堤後背地は住宅地として利用 嵩上げについて検討。
二線堤～国道 45 号	公園や漁業者が利用する倉庫・作業場などの施設を整備（非可住地）。
江山寺高台南部	被災したエリアは漁業関連施設の整備など非可住地として利用。 今回の津波で残った住宅については、引き続き利用できるように配慮。

②道路、防災等の方針

二線堤兼用道路の整備	高台になっている金浜稻荷神社と宮古道路を結ぶ二線堤兼用道路の整備。 後背の居住地を広くとるために、できるだけ国道寄りでの整備を検討。
避難路・避難道路の整備	高台方面の避難所につながる避難路を確保（一部は自動車で移動できる道路を確保）。 住民用の避難路と温泉やスーパー等の施設利用者用の避難路を整備。 高浜小学校までの安全な通学路の整備。 国道から馬越方面へ抜ける防災道路の整備。
避難所の整備	宮古道路以西の高台に避難所と駐車場を整備。
津波避難ビルの整備	予想浸水深の深い国道 45 号沿いでは、自動車利用者や周辺住民の緊急用の津波避難ビルなどを整備。